

1. 科目名 (単位数)	児童生徒指導論 (進路指導を含む) (初等) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP3215 EDTE2306 EDTE2106
2. 授業担当教員	大島 聡		
4. 授業形態	講義、グループ討議、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	なし		
7. 講義概要	生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。また、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むキャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付ける。		
8. 学習目標	1. ガイダンスとカウンセリング機能の充実による生徒指導・進路指導・キャリア教育の意義や、原理を理解する。 2. 学級・学年・学校における生徒指導の進め方や進路指導・キャリア教育の考え方と指導の在り方を理解する 3. 生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業時に演習課題に取り組むが、その結果について自分で振り返ってみる。		
10. 教科書・参考書・教材	片山紀子著「入門生徒指導『生徒指導提要 (改訂版)』を踏まえて 五訂版」学事出版 文部科学省「生徒指導提要」(文部科学省サイトよりダウンロード可能)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 児童生徒指導の意義や役割が説明でき、諸問題への対応や改善策が考えられる。 ○評定の方法 演習課題 40%、学習記録・レスポンスシート 30%、受講態度 30%とする。		
12. 受講生へのメッセージ			
13. オフィスアワー	授業中に指示する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	生徒指導の基本を知る。	事前学習	教科書第 1 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 2 回	児童生徒理解とは何かを考える。	事前学習	教科書第 2 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 3 回	望ましい教師の姿を描いてみる。	事前学習	教科書第 3 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 4 回	生徒指導に有効な指導体制を考察する。	事前学習	教科書第 4 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 5 回	教育相談の概要を知る。	事前学習	教科書第 5 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 6 回	コーチング、構成的グループ・エンカウンター等の生徒指導の手法の有効性を考える。	事前学習	教科書第 6 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 7 回	懲戒や体罰の生徒指導上の意味を考える。	事前学習	教科書第 7 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 8 回	少年非行の状況を知り、その背景を考える。	事前学習	教科書第 8 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 9 回	いじめとは何か、なぜ起きるのか、どう対応するのか等について考える。	事前学習	教科書第 9 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 10 回	不登校になる理由を掘り下げ、対応策を考える。	事前学習	教科書第 10 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 11 回	学級経営と授業の関連について考える。	事前学習	教科書第 11 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 12 回	子供たちの多様性について知る。	事前学習	教科書第 12 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 13 回	子供たちの多様性をとらえる視点を考える。	事前学習	教科書第 13 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 14 回	キャリア教育とは何か、何が行われているのかを知る。	事前学習	教科書第 14 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
第 15 回	問題が生じた時の対応の基本を知る。	事前学習	こ教科書第 15 章を読む。
		事後学習	演習課題の結果を振り返る。
最終レポート			